

みなさん こんにちは、中村です。お元気でご活躍のことと思います。桜前線が早いペースで北上し、関東から西は満開をむかえています。桜の木の下で甘いおあげのおいなりさんを片手に花見酒といきたいものです。こう暖かいと花が散って若葉が茂り始めるのも時間の問題ですね。桜の花のメカニズムは、まさにこの頃から次の春の為の物が葉陰に準備されるそうです。その後、梅雨の雨を受け、夏の日差しを受け、秋風を受けて、冬の寒さを耐えて、春にやっと咲く!という仕組みになっています。そこで大切なのが冬の寒さで、一度零度に近い寒さを感知することが一番重要になります。その寒さを経験して次にある一定の温度まで暖かくなったら花を咲かせようと開花ホルモンの活動が始まります。その為、秋口に数日間、冬のような寒い日が続き、その後小春日和のポカポカ陽気が何日か続くと、桜の中には勘違いして花を咲かせる物が出てくるそうです。満開の桜を違った視点から見ると思いもひとしおです。

経営事項審査の書式が変わります

平成 16 年 4 月以降に申請する経営事項審査の書式が新しくなり、呼び名も一部変更になります。

【従来の経営事項審査手続】

経営事項審査 (X1・X2・W・Z・P) + 経営状況分析 (Y: 財務諸表に関する評点)

結果通知書 (Y の内容も併せて記載)

終了通知書

【新しい (16 年 4 月以降の) 経営事項審査手続】

: 1 つの申請書で、下記 a ~ c の組み合わせにより申請形態を選択します。

- a: 経営規模等評価申請書 (X1: 完成工事高に関する評点
X2: 自己資本額・職員数に関する評点
W: 社会性(保険加入状況等)に関する評点
Z: 技術職員に関する評点)

b: 総合評定値請求書 (P 点)

c: 再審査申立書 (通常は使用しない。法令改正、審査に不服のある場合に使用)

上記の組み合わせから考えられる 1 ~ 5 のパターンのうちいずれか 1 つを、申請書にマーク。

1. 経営規模等評価申請+総合評定値請求 (X1・X2・W・Z+P)
2. 経営規模等評価申請のみ (X1・X2・W・Z)
3. 総合評定値請求のみ (P)

(4・5 は再審査に関するもののため略)

結果通知書は、1 ~ 5 のうちマークした内容の評点のみ記載されます。

入札参加資格申請や、入札時に、発注元の各官公庁等で要求される内容が異なりますので、どれを選択するかは発注元に確認が必要です。

ただ、年度によって発注元の各官公庁等が評価項目を変更することも考えられますので、

上記 1. のパターンで受審頂ければ、従来の経営事項審査結果通知書の内容は、すべてカバーできます。

また、経営事項審査受審時には、経営状況分析終了通知書の提出が必須となりました。

(受審時までには経営状況分析終了通知書がお手許に届かない場合(分析申請から約 3 週間後で送付されます) 審査期日を再度入れなおすことになり、受審と結果通知の送付が遅れますので、要注意です。) (中山)

シリーズ 建設業 Q & A

Q. 当社は電気工事業の建設業許可を受けた業者ですが、電気工事業登録を受けていません。何か問題はありますか?

A. 下請に電気工事を施工させる場合は、建設業許可のみでかまわないのですが、自社で自ら施工する場合は「電気工事業の業務の適正化に関する法律」に基づく電気工事業登録が必要になります。

Q. どうしたら電気工事業登録を受けることができますか?

A. 社内に電気工事士がいることが要件になります。

第一種電気工事士の場合、一般用電気工作物 (600V 以下の電圧の電気を使用する一般家庭、商店等が該当) 及び自家用電気工作物 (最大電力 500kw 未満の需要設備、中小ビル、工場等が該当) の登録が可能ですが、第二種電気工事士の場合、一般用電気工作物のみ登録 (3 年以上の実務経験が必要) となります。具体的には、営業所所在地の都道府県で登録を受けることとなりますが、営業所が複数の都道府県にまたがる場合、経済産業大臣もしくは各地域の経済産業局登録となります。建設業許可業者の場合、「みなし業者」とされ、東京都の場合、環境局環境保安課へ電気工事業開始届出書もしくは電気工事業開始通知書を申請することになります。

(中山)

すばやく渴きをいやすには?

これからの季節、暖かくなってくるにつれ、のどが渴く機会も増えてきます。そんな時に、素早くのどの渴きをいやすには冷たい水のほうが良いのだそうです。

水分は腸で吸収されますが、冷たい水はすぐに胃を通過し、腸に達し、吸収されるからです。その一方で、熱い湯は胃にとどまってしまうため、なかなか腸で吸収されないのだそうです。しかし冷たい水は、吸収が早いのでその分胃腸を刺激して、調子を崩してしまうことがあります。そのことをふまえて、早く水分を補給したい時は冷たいものを、胃腸のことを考えてなら温かいものと、その時の状況に応じて選んで水分補給を行いたいですね。



(佐藤)